

公共施設ロビー展示 (4月～6月)

展示者の都合により開始日・終了日が変更になる場合があります。新川・大浜・棚尾公民館は月曜日も開館します。

ところ	4月	5月	6月
新川公民館 ☎41-2103	革工芸 (フラミンゴ)	紐工芸 (マトクラフト新川教室)	油絵 (楽画会)
中部公民館 ☎42-8266	パッチワーク (マテル)	俳句・手芸作品 (碧南市養護老人ホーム)	未定
大浜公民館 ☎42-1182	籐工芸 (籐句の会)	似顔絵 (心似顔絵サークル)	大浜公民館をもっと活用しよう
棚尾公民館 ☎41-0892	陶芸 (碧陶会) 手芸 (碧南市養護老人ホーム)	子どもの絵・デザイン (親子ユニット「ミントグリーン」) 陶芸 (碧陶会) 手芸 (彩の会)	陶芸 (碧陶会) フラワーデザイン (サークルはあもにい) 折紙 (折り紙倶楽部) 写真 (平岩廣一郎)
日進公民館 ☎48-2678	みらいの会～いっしょに こんな活動しませんか?～ (つながりのわ日進みらいの会)	矢作川界隈の散歩道「花・風景」 (山中一弘)	手芸作品 (アトリエ リプル)
鷺塚公民館 ☎48-5412	筆ペン作品 (あじさいの会) 植物画 (杉浦 瞳)	植物画 (ボタニカルアート彩画クラブ) 部屋飾りアート (つぼみの会)	手工芸 (リフォームの会)
農業者コミュニ ティセンター ☎42-5888	絵画 (きめうら学院)	写真 (榊原恵四郎)	押し花 (よもぎ会)

昭和三十年(一九五五)に明治村は解村し、大字西端は碧南市に編入されました。

西端は江戸時代の初期から旗本(幕末に大名となる)本多家が治めていました。碧南市内で、西端地区だけは他の地区とは異なる歴史を経て現在に至っています。

明治二年(一八六九)西端陣屋の南に西端藩庁が建てられ、明治四年(一八七一)の廃藩置県によって西端県庁となりました。しかし、間もなく三河国全域と尾張国知多郡は額田県となり西端県庁は払下げられました。県庁は、木曾檜と榑で造られた立派な庁舎だったそうですが、払下げ後もなく火事で焼けたといわれます。

一方、明治初期の西端村役場は応仁寺の境内にありました。その後役場は明治十八年(一八八五)、現在の札木交差点より南西へ一五〇メートル程の位置に移りました。

明治三十九年(一九〇六)、西端村は近隣の村々と合併し、明治村となりました。明治村時代の地図にも西端村役場だった場所に「大字役場」の四角形の印が記されています。

西端は江戸時代の初期から旗本(幕末に大名となる)本多家が治めていました。碧南市内で、西端地区だけは他の地区とは異なる歴史を経て現在に至っています。

明治二年(一八六九)西端陣屋の南に西端藩庁が建てられ、明治四年(一八七一)の廃藩置県によって西端県庁となりました。しかし、間もなく三河国全域と尾張国知多郡は額田県となり西端県庁は払下げられました。県庁は、木曾檜と榑で造られた立派な庁舎だったそうですが、払下げ後もなく火事で焼けたといわれます。

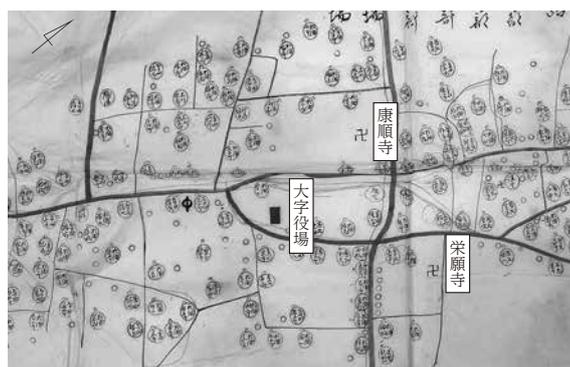
一方、明治初期の西端村役場は応仁寺の境内にありました。その後役場は明治十八年(一八八五)、現在の札木交差点より南西へ一五〇メートル程の位置に移りました。

明治三十九年(一九〇六)、西端村は近隣の村々と合併し、明治村となりました。明治村時代の地図にも西端村役場だった場所に「大字役場」の四角形の印が記されています。

大字役場は引き続き西端区事務所として利用されましたが、昭和三十六年(一九六一)に現在の西端交差点付近に西端区事務所・公民館として新築移転されました。元の役場庁舎は三度山住宅の集会所として使用され、その後取り壊されました。



△戦時中の大字西端役場 (原田三郎氏撮影)
後ろに火の見やぐらが見える



△明治村大字西端絵図
現在の札木町、吹上町付近を写している

碧南の歴史へのいざない

問 藤井達吉現代美術館 ☎48-66602

No.120 庁舎タイムスリップ(6) 西端県庁・西端村役場